



2025 年 12 月 4 日 (木) 第 5 回例会

【対面式 ZOOM ハイブリッド例会】

会長時間



ロータリーは自己研鑽の場です。みなさんこんばんは。

【ロータリーの年次総会について】

次回例会は当クラブの年次総会です。ロータリークラブで用いる言葉は一般社会と同じでも意味が異なることがあります。この年次総会もその一例です。

一般的には「総会」というと株主総会のイメージが強く、多くの決議が成される印象がありますが、ロータリーの年次総会は、次年度の理事役員を決めることだけを唯一の目的に開催されます。ロータリークラブの意思決定は唯一の決議機関である理事会が行いますから、皆さんに決めていただくのは、この年次総会における次年度理事役員だけで、これがロータリーの意思決定における唯一の例外です。また、大きな問題が発生した場合など、総会を開いて皆で決めようというような発言をする方もいらっしゃいますが、これは間違いで、どんな問題であれ、決めるのは理事会だけです。注意いただきたいのは、このルールをしっかりとご理解いただくことですが、そのためにも、「年次総会」を「総会」と言うような誤った言葉を使うことは避けなければなりません。

今回の年次総会では、次年度理事役員候補を発表して皆さんのお手を求めます。当クラブの会員の殆どはロータリー歴が極めて短い方々ですから、当初 3 年程度の理事役員の顔ぶれはどうしてもロータリー歴が比較的長い会員が続いてしまうことは、どうかご理解ください。これまでもしてきたように、これからも会員の育成に取り組んで、皆さんの順番が回ってくる 4 年先あるいは 5 年先には、しっかりとクラブリーダーとして活躍していただきますので、とにかく地道に少しづつ自己研鑽に励んでください。

【今後の活動について】

年次総会で次年度理事役員が決まると、2 月までには次年度の委員会構成を理事会が決めて発表し、そこから次年度準備を開始します。ですから、毎年 1 月から 6 月までの下半期は、当年度の活動と、次年度準備という活動を同時進行で行うことになります。しかし今年度は準備期間としているので、通常の委員会活動などを行っていません。従って、1 月から 6 月は純粋に次年度準備を行っていただきます。

まず、次回の年次総会の後に、「ロータリーの年度と運営、委員会活動、次年度準備について」というテーマで会長卓話を行い、1 月以降どのように活動するのかご説明いたします。そして、1 月 15 日例会では、次年度の奉仕活動などについて、皆さんでざっくばらんに話し合う機会を設けます。みなさんそれぞれにやりたいこと、興味があることが異なると思います。まずは色々な意見を聞いてみようという機会です。次年度からは本格的に対外的活動を開始しますが、そのための最初の重要なステップですので、ご参加をよろしくお願いいたします。

このような、次年度に備える活動と共に、引き続き、ロータリーをご理解いただくための育成プログラムを実施していきます。その基本となるのは例会参加です。例会参会は義務ではなく、出席規定を満たしていればよいのですが、例会で得るロータリーに関する情報はとても貴重であり、また、会員同士の切磋

琢磨も例会で可能になりますので、ご欠席の場合は必ず後で例会動画や会報を見ていただくようにお願いいたします。

先日のチャーターナイトで祝辞をいただいた東京東江戸川ロータリークラブ所属の嶋村パストガバナーが、あるRI理事が、ロータリークラブでは研修が欠かせないとおっしゃっていた、ということを述べられました。その通りだと思います。僕は地区のRLI（ロータリーリーダーシップ研究会）という勉強会でファシリテーターを務めていますが、次年度に会長をする参加者の余りに多くが、「なにもわかっていないのですが」とご自分でおっしゃることにがく然とします。最初は謙遜かと思いましたが、どうもそうではないようです。何もわからない方が理事、あるいは会長幹事を務めるのは、僕がよくたとえて言うのですが、セスナしか操縦できない人が世界最大のエアバスA380を操縦するようなものです。操縦できるはずはありません。せいぜい、これまでと同じ高度方向でまっすぐ飛ぶことくらいです。つまり、わからない人にクラブリーダーを務めるのは無理ですし、そうなればクラブはダメになっていきます。これからも、皆さんがロータリアンとして立派に成長されるようクラブがサポートしていきますのでよろしく願いいたします。

【ロータリー思想の原点ニューイングランド地方】

さて、今日は、ポール・ハリスがロータリーの原点があるといっている彼の故郷、アメリカのニューイングランド地方について少しお話しします。

ポール・ハリスは父親の家業が破綻したときに、祖父母が住むアメリカ北東部のニューイングランド地方に移り住みました。ニューイングランドは母国イギリスで宗教的弾圧に苦しんだ新しいキリスト教の一派であったピューリタン、すなわち清教徒たちが、カトリックの弾圧から逃れるためにメイフラワー号に乗って大西洋を渡り、新大陸アメリカに渡り上陸した地方です。

母国で宗教的弾圧を受けたピューリタンは、新大陸で宗教的自由を尊重し、ピューリタンもカトリックもプロテスタントも、どれも等しく認めたのですが、ポール・ハリスはこの伝統を知らず知らずのうちに身につけ、ロータリー思想の中で、これを全ての人が平等であるという概念として開花させました。

また、この地の伝統的価値観である、名誉、献身、誠実、愛情なども、ポールは祖父母から受けた軼の中で身につけ、ここから生まれた、隣人愛、友人愛の精神は、やはりロータリー思想の中に組み込まれることになりました。

ドル紙幣を見ると、そこにはIn God We Trustと書いてあります。これは正式なアメリカ合衆国の標語で、「我々は神を信じる」という意味です。そしてこの神とは、実はキリストを指すのです。アメリカは法律で宗教の自由を認めていますが、その素性はキリスト教国なのです。減少傾向にありますが、今でもアメリカ国民の60%はキリスト教徒。彼らはキリスト教の教義の影響を受けて育ち、それを日常生活で実践しているのです。アメリカのロータリアンが自然体で奉仕を実践できるひとつの背景がここにあります。このように、その国の精神的バックグラウンドや思想の傾向を少しだけ理解すると、ロータリーがもっとわかるかもしれません。これについては別の機会にお伝えしたいと思います。

以上で今日の会長時間を終わります。

例会次第

- ・開会点鐘
- ・国歌斉唱（各月第1例会のみ）
- ・ロータリーソングの唱和 「我等の生業」
- ・「四つのテスト」唱和（各月第1例会のみ）

- ・来訪ロータリアン及び来賓者の紹介
小林道匡（みちまさ）さん （呉東 RC RID2710）
- ・会長時間
- ・幹事報告
- ・出席報告
- ・例会プログラム
会員卓話「私の大事にしていること」
- ・閉会点鐘

幹 事 報 告

- ・11月21日開催のチャーターナイトに参加された方、お疲れ様でした。これを機にクラブ外のロータリアンとも親交を深めていただきたいと思います。欠席された方は是非動画をご覧下さい。
- ・本日「ロータリーの友」を配布しました。前月号在庫ありますので必要な方は伊藤管理運営委員会委員長まで。
- ・2月19日例会に、福山RCの北村さん、東城RCの佐藤さん、因島RCの岡野さんからメールアップお申込がありました。
- ・12月18日は年次総会です。
- ・4月25日、呉阪急ホテルにて RID2710 グループ8 インターシティ・ミーティングが開催されますのでご参加をお願いします(全員登録)。
- ・6月13日から17日まで台北で開催される国際大会の早期割引が12月15日までです。

出 席 報 告

本日の例会 参加会員数： 22名中 16名（うちオンライン参加者4名）【出席率72%】
来客： 1名

新 会 員 入 会 式



川口 茂博（かわぐち しげひろ）さん （11月6日入会）

推薦者：伊藤（弘） 推薦同意者：諏訪 職業分類：不動産業



拜郷 拳人（はいごう けんと）さん （11月17日入会）

推薦者：渡部 推薦同意者：諏訪 職業分類：商業デザイナー

スマイル BOX

本日はありません。

プログラム

会員卓話：「私の大事にしていること」

前回に引き続き一人5分で卓話をしていただきました。

坂本さん



私は小学2年生の頃より剣道を習っており、師である川島実先生からは多くのことを学ばせて頂きました。学生の頃、試合会場でとある先生が「差し入れをしたのに私に感謝のひとつもない」と腹を立てていた先生を川島先生が次のように叱りつけました。「感謝というのは、されるものであって求めるものではない。相手から臨んだ反応が得られないということは、何か原因があるからだ。それを考えられないということは、相手を勝手にこうだと決めつけていることに等しい。それは驕りだ。」と。社会人となってからもこの内容は痛感することが多く、今でも自身への教訓として胸に刻み、日々の生活に臨んでいます。

杉岡さん



私は「ロックに生きる」ことを大切にし、発達障がいの特性に合わせた独自のサッカープログラムを開発し活動を広げています。その一環で日本初となるエディオンピースウイング広島のセンサリールーム設置を提案し運営を担っています。毎年4月2日の世界自閉症啓発デーには発達障がい児だけのサッカー大会を開催し、来年はピースウイングスタジアムで実現したいと考えています。さらに、レオナル・メッシがマイアミの自閉症チームを広島に連れて来て、キャプテン翼の平和宣言壁画の前で平和を宣言することが私の野望です。社会に役立ち、ワクワクして生きる——これが私のロックな生き方です。

谷口さん



「私が大切にしている事」を「仕事関連」、「プライベート関連」の2つに分けて考えました。仕事関連で大切にしている事は、顧客満足、責任感、誠実性、感謝、品質、専門性、独自性、効率、チームワーク、等々です。次にプライベート関連は、家族、友人、地元、母国、趣味、伝統、文化、その他、です。また、いつも目にすることに掲げている「道徳律11ヵ条」、「職業宣言」、「四つのテスト」は大切にすべきものだと考えています。その後色々考えた結果、結局のところ、私が大切にしている事は、家族であり、友人であり、母国とその伝統・文化である事に気づきました。そしてそれを実現する為には職業を大切にしなければならないのです。職業を大切にそして充実させる為に、私は「道徳律11ヵ条」と「職業宣言」を指針として活動し、仕事とプライベート全般にわたっては「四つのテスト」に照らして行動してゆきます。